

2025 年 7 月 3 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における過去 10 年間の感染性心内膜炎の疫学調査

2. 研究責任者

海南病院 循環器内科 荒木 孝

3. 研究の概要

感染性心内膜炎は、4-6 週間と長期の抗生剤治療を要し、手術が必要になることもあり、院内死亡率は 15-30%と報告されている。脳塞栓や化膿性椎体炎を合併することもあり、そこから感染性心内膜が疑われ診断に至ることや、感染性心内膜炎をきたしやすい菌があり、それによる菌血症から診断に至ることがある。

当院では、感染管理チーム(ICT)/抗菌薬適正使用支援チーム(AST)にて、毎週血液培養ラウンドを行っており、真の菌血症か、血液採取時のコンタミネーション(血液採取時に皮膚常在菌が混入してしまう状態)か判断を行い、感染臓器の判断、適正な追加検査が行われているか、適正な抗生剤使用がなされているかを評価している。

当院における過去 10 年間(2015/4/1～2025/3/31)の感染性心内膜炎症例を抽出し、疫学調査を行うとともに、各起炎菌による菌血症における感染性心内膜炎の割合をもとめることで、早期診断およびより適正な治療の提供を目指す。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

過去 10 年(2015/4/1～2025/3/31)に当院で感染性心内膜炎の診断を受けた患者さんかつ過去 10 年(2015/4/1～2025/3/31)に当院で血液培養を採取された患者さん

②使用する試料等

残余検体：使用しない

カルテ情報：体温・血圧・脈拍・心臓超音波検査・採血検査データ(白血球、ヘモグロビン、血小板、アルブミン、Cr、eGFR、AST、ALT、LDH、T.Bil、BNP、CRP、Ddimer、HbA1c)、微生物検査結果などの生体検査データ、治療内容(抗菌

薬、手術など)などを使用する。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 循環器内科 荒木 孝
電話：0567-65-2511（代表）